



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第1号
令和3年6月10日

学校運営協議会は、地域・家庭・学校が一体となり、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進するための組織です。

第四中学校は、平成29年度より学校運営協議会を設置し、本年度で5年目を迎えます。

今年度は、5月31日（月）に、第1回学校運営協議会を開催しました。委員13名のうち9名が出席し、学校運営方針について協議をしております。

□ 学校長挨拶【抜粋】

昨年度はコロナの影響で5月末まで休校でしたが、今年度は、感染予防の対策を取りながら、教育活動ができています。できる活動にはまだまだ制限があり、計画していたことをすべて実施できない現実もありますが、生徒たちの活動が多く見られて嬉しい限りです。

今年度も学校運営協議会の委員の皆様から多くのご意見を伺いながら、学校運営に全力で取り組んでまいります。

□ 令和3年度学校運営方針の承認【協議】

学校だよりで詳細をお知らせしております「学校運営方針」について、校長より説明がありました。

学校教育目標

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」

～生徒が主役の“あい”があふれる学校づくりを推進し、

個性豊かで、明るく、たくましい生徒の育成を目指す～

- (1) 主役は生徒
- (2) “あい”があふれる学校
- (3) 信じて認めて任せる、コーチングサポーターである教職員

＜校長より＞

- ・今年度も「生徒が主役」「“あい”があふれる学校」を合言葉としている。
- ・生徒会や部活動、体育祭などで、生徒が主体の活動が数多く行われている。しかし、アンケート結果を見ると、生徒の自己肯定感がまだ弱いことが読み取れる。もっと自信を持たせていきたい。
- ・コロナの感染状況を考えると仕方ないことだが、ボランティア活動など、地域の方や校外の方との関わりを持たせたい。四中生のことをもっと知っていただきたい。
- ・今年度より、新学習指導要領が全面实施となった。アクティブラーニングは以前から意識して行っているが、より積極的に、生徒の活動を取り入れた授業を展開していきたい。

＜委員からの主な意見＞

- ・アクティブラーニングをどう取り入れていくか、教員の年齢や経験年数によって積極性が異なる場合がある。様々な工夫をしてほしい。
- ・生徒の自己肯定感の弱さが気になっていたが、生徒会活動が活発と聞いたので、今後を楽しみにしている。
- ・学校教育目標にもある“あい”は大切だと思う。“あい”の意味を生徒だけではなく、家庭や地域にも広めていき、地域全体が生徒に関わるようになったらいいと思う。
- ・コロナの影響で地域の行事も中止となることが多いが、落ち着いたら、多くの四中生に参加してほしい。中学生の姿を見て、小学生が憧れを抱き、お手本となってくれる。また、参加した本人の自信にもつながる。

意見聴取後、協議の結果、学校運営方針は承認されました。